

石川県内経済情勢

令和5年10月
財務省北陸財務局

県内経済は、持ち直している。

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

(注) 5年10月判断は、前回7月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

個人消費：緩やかに回復しつつある。

百貨店・スーパー販売

飲食料品等に動きがみられることから、持ち直している。

コンビニエンスストア販売

米飯類や飲料等に動きがみられることから、順調となっている。

ドラッグストア販売

飲食料品等に動きがみられるほか、新規出店効果もあり、拡大している。

ホームセンター販売

日用品の動きが鈍いものの、夏物用品に動きがみられることから、持ち直しの動きがみられる。

家電大型専門店販売

テレビ等の動きが鈍いものの、エアコンに動きがみられることから、持ち直しの動きがみられる。

新車販売台数

普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車ともに前年を上回っており、持ち直している。

主要観光地の来訪客数

前年を上回っている。

主要温泉地の宿泊客数

前年を上回っている。

設備投資：5年度は増加見込みとなっている。(法人企業景気予測調査(5年7-9月期調査))

製造業、非製造業ともに増加見込みとなっている。

住宅建設：弱含んでいる。

新設住宅着工戸数

弱含んでいる。

公共事業：前年を下回っている。

前払金保証請負金額

前年を下回っている。

生産活動：緩やかに持ち直しつつある。

電気機械

スマートフォン向けが下げ止まりつつあるほか、自動車向けが緩やかに持ち直しつつあることなどから、全体では下げ止まっている。

汎用・生産用・業務用機械

繊維機械が拡大しているほか、金属加工機械が増加していることなどから、全体では拡大しつつある。

繊維

衣料向け、非衣料向けともに緩やかに持ち直しつつある。

化学

大宗を占める医薬品が拡大の動きに一服感がみられる。

企業収益：5年度は増益見込みとなっている。（法人企業景気予測調査（5年7-9月期調査））

製造業は増益見込み、非製造業は減益見込みとなっている。規模別では、大企業、中小企業は増益見込み、中堅企業は減益見込みとなっている。

企業の景況感：全産業では「上昇」超となっている。（法人企業景気予測調査（5年7-9月期調査））

現状判断（5年7-9月期）は、製造業、非製造業ともに「上昇」超となっている。

なお、先行きは、全産業では5年10-12月期、6年1-3月期ともに「上昇」超となる見通しとなっている。

雇用情勢：緩やかに持ち直している。

有効求人倍率（季節調整値）

低下しているものの、高水準で推移している。

新規求人数

前年を下回っている。

新規求職者数

前年を上回っている。

雇用保険受給者実人員

前年を上回っている。

金融機関の貸出金：前年を下回っている。

企業倒産：前年並みとなっている。

負債総額は前年を下回っているものの、件数は前年並みとなっている。

消費者物価（金沢市、生鮮食品を除く総合）：前年を上回っている。

お問合せ先
財務省 北陸財務局 経済調査課
TEL (076) 292-7858